

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－
ワークショップ実施計画書

制作団体名	株式会社 伝統芸能オフィス
公演団体名	一般社団法人 三宅狂言会

内容

ワークショップ時間 1時間30分

参加者

必修

狂言「茸」の茸役・鬼役の稽古

キノコ役…12名



場所…体育館

選出方法

弊社のおすすめ

①低学年から高学年から選出。

効果 (先生の感想より)

- 異学年の児童たちが一つの目標に向かって共に頑張る楽しさや達成感を実感することができた
- 自主的に教え合ったり低学年の面倒を見たりする態度が育った

②同じ学年やクラスの中から選出。

授業の関係もあると思いますので、選出につきましては臨機応変にいたしますのでご相談ください。

鬼茸役
…先生1名

場所…体育館



大きな声を出して、子どもたちを引っ張っていく
鬼茸役の先生は子どもたちにとって心強く
励みとなる存在です

効果 (先生の感想より)

子どもたちとの距離が縮まり、心の交流が深まった

事前ワークショップ

ワークショップ時間 90分

内容その1 狂言「茸」のキノコ役の練習



体育館のフロアでキノコ役の動きを練習します。しゃがんだ格好のままフロア内を動き回りますので、動きやすい格好(体育着など)で行います。

事前にDVD教材をお送り致します。鬼茸(おにたけ)役の先生と一緒に練習します。



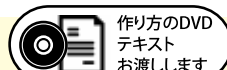
茸(くさびら)の動きの練習 舞台いっぱいにかわいらしいキノコがちよこちよこ動き回る様子が観客の笑いをさそいます



「とっつかもぉ〜」鬼茸役の先生の練習風景

内容その2

ワークショップ終了後、各自本番までの宿題



本番で使用するキノコ役の笠と面を創作!



ワークショップ終了後、本公演までに舞台出演時に身につける面と笠をオリジナルで作成します。子どもたちが想像を膨らませて作成した面や笠をつけて舞台に登場することにより、世界に一つしかない狂言を生み出すことができます。

笠の作成について

作成時間の余裕がない場合は、傘の作成を割愛して弊社が用意した物を使用することも可能です



狂言の「面」について説明します

面と傘をつくる効果

いままで上演してきた学校の反応をみてわかったこと

- 見ている側の子どもたちが、それぞれの「面」と「傘」のおもしろさを楽しみながら見ている。
- 色とりどりの「面」や「傘」は、庭に生えてきた怪しいキノコを表現するのに効果的。
- 子どもたちの想像力はとてもおもしろく、それぞれオリジナリティあふれる作品が生まれる。
- カーテンコールで面をはずして出てくると、あのおもしろい面の子はあの子だったのか!と驚きがある。



本番の公演で面と傘をつけて登場します

ワークショップの参加者

その1 「茸」のお稽古のみの場合 (12名参加)

時間…90分

必修

狂言「茸」のキノコ役・鬼茸役の稽古 場所…体育館

キノコ役…12名



選出方法

弊社のおすすめ

①低学年から高学年の中から選出。

効果 (先生の感想より)

- 異学年の児童たちが一つの目標に向かって共に頑張る楽しさや達成感を実感することができた
- 自主的に教え合ったり低学年の面倒を見たりする態度が育った

②同じ学年やクラスの中から選出。

授業の関係もあると思いますので、選出につきましては臨機応変にいたしますのでご相談ください。

鬼茸役
…先生1名



大きな声を出して、子どもたちを引っ張っていく
鬼茸役の先生は子どもたちにとって心強く
励みとなる存在です

効果 (先生の感想より)

子どもたちとの距離が縮まり、心の交流が深まった

その2 クラス単位・学年単位での参加をご希望の場合

茸の稽古と謡いのお稽古2組に分かれてお稽古をします

時間…90分

必修

狂言「茸」のキノコ役・鬼茸役の稽古 場所…体育館

参加者…キノコ役12名

鬼茸役…先生1名

時間…45分

選択制

狂言の謡「兎(うさぎ)」をうたおう! 場所…音楽室等

参加者…茸役以外のクラス単位、学年単位での参加

場 所…音楽室など

狂言の簡単な所作などを体験後、狂言の謡「兎(うさぎ)」を
大きな声でうたう練習をします。

本公演では、みなさんの謡いにあわせて、狂言師が小舞を舞います。

※小規模校やご希望の場合は、児童生徒数名が
小舞も覚えていただき、本公演で発表することも可能です。

2組に分かれてお稽古します

その3

全校児童・生徒の参加をご希望の場合

より多くの児童生徒さんに体験してもらうため、午前中に全校でワークショップを行い、
午後に代表児童が茸の稽古をすることも可能です

時間…30分～45分

選択制

みんなで楽しむ狂言体験

場所…体育館

参加者…全校児童・生徒(キノコ役の児童も含む)

はじまりのごあいさつ

まずは「おねがいします」と狂言師と児童・生徒さんがお互いあいさつをしてはじめます。

みんなで狂言体験をしよう!

狂言の歴史、成り立ちなどを簡単に解説したあと、

狂言のかまえ(姿勢)、すり足(歩き方)、発声(大声で大笑い)など

狂言の基本所作をみんなで一緒にやってみよう!

着付け体験 装束を着てみよう!

先生に狂言の装束の長袴を着付けします。

本公演で
発表

狂言の謡「兎(うさぎ)」をうたおう!

狂言の謡「兎(うさぎ)」を全員でうたう練習をします。

狂言師が謡う後について大きな声でうたいましょう。

本公演では、みなさんの謡いにあわせて、狂言師が小舞を舞います。

お昼休憩

時間…90分

必修

狂言「茸」の茸役・鬼茸役の稽古

場所…体育館

参加者…キノコ役12名

鬼茸役…先生1名

ワークショップ実施のパターン

その1 茸のお稽古のみ

茸のお稽古

キノコ役12名+先生
場所 体育館

90分

その2 クラス単位参加

茸のお稽古

キノコ役12名+先生
場所 体育館

各
90分

2組に分かれてお稽古

謡「兎」のお稽古

クラス単位参加
場所 音楽室等

各
45分

その3 全校児童・生徒参加

みんなで楽しむ狂言体験

全校児童・生徒参加
場所 体育館

午前中
45分

茸のお稽古

キノコ役12名+先生
場所 体育館

午後
90分

タイムスケジュール（標準）
ワークショップ開始時間が 9:30 の場合 8:30 準備開始 9:30 ワークショップ開始 11:00 ワークショップ終了・片付け開始 11:30 片付け終了

派遣者数
3名～4名 内訳 ・主たる指導者——1 ・従たる指導者——1～2(ワークショップの内容によって変わります) ・スタッフ ——1

学校における事前指導
○狂言「茸—くさびら」 ・キノコ役に最大 12 名出演、出演する児童、生徒、先生 ・本番上演と同じ寸法の舞台上で各キノコ(茸)役の演じる位置と簡単なセリフを覚える ・キノコ(茸)役が演じる時につけるお面と笠の製作指導 ・動きとお面、笠製作のためのサンプル映像や写真は事前にお渡しします ・事前ワークショップでのお稽古の様子をビデオカメラで撮影していただき、本公演に向けての練習の時に活用願います。

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

本公演実施計画書

制作団体名	株式会社 伝統芸能オフィス
公演団体名	一般社団法人 三宅狂言会

演目
第1部 1. 狂言解説 ～狂言ってなあに？～ 2. 狂言「盆山」(ぼんさん) 3. 狂言体験 ～僕も私も1日狂言師～ +++++ 休憩 (15分) +++++ 第2部 4. 狂言「茸(くさびら)」－大勢狂言－ ※ 監修 振り付け……三宅右近(和泉流狂言方) ※ 企画原案 演出 脚本 構成……なかつぼ まこと 公演時間(90 分)

派遣者数
9名 内訳 出演者 5名 スタッフ 4名

タイムスケジュール(標準)
9:00～ 到着・設営 11:00～ リハーサル 12:30～ 昼食休憩 13:00～ 開場 13:30～15:00 公演 15:00～17:00 撤収・完全退館

実施校への協力依頼人員
とくにありません(事前に体育館の簡単なお掃除をお願い致します)

演目解説



みんなが主役！

こどもたちの狂言
茸 くさびら

第1部

1、狂言の解説 ～狂言ってなあに？～

初めて狂言、伝統芸能の世界に触れる児童生徒のために、
簡単な歴史や、能舞台のしくみ、役割、狂言の衣裳、装束(しょうぞく)、
狂言独特の演出方法などを実演をまじえながらわかりやすく解説します

※教科書に「柿山伏」が載っている学校は、「柿山伏」の解説をいたします



狂言を楽しく鑑賞する決まり事を
わかりやすくおはなしします

- 狂言はいつの時代にできたの？
- 能舞台ってどのような構造なの？
- 狂言の衣裳のあれこれ
- 狂言に登場するゆかいなキャラクター
などなど

2、狂言「盆山 ぼんさん」

実演を交えた
狂言の特徴のおはなし

狂言「盆山」は狂言で表現される基本的な所作(足、手、腰の動き)、
セリフ、擬音などの特徴がふんだんに盛り込まれております。

「盆山」の中の

狂言の
特徴

- ただ観劇するのではなく、シーンを一度止めて丁寧に特徴について確認しながらご覧いただけます
- 名乗り……「このあたりの者でござる」など名乗り、自分が何者かを観客に知らせます
- 道行き……セリフを言いながら能舞台の柱に沿って三角に歩き目的地まで向かう様子
- 擬音……垣根をのこぎりで切る音、垣根を破る音や動物の鳴き真似をする様子など



【盆山あらすじ】

ある男が登場。友達が当時流行の「盆山」のコレクターで、その男もその盆山が欲しくなり、友達に一つ分けてくれと頼みますが、友達はケチで分けてくれません。そこで男は夜にこっそりと友達の家へ盗みに忍び込むが、物音に気付いた友達は顔見知りと分かり、からかってやろうと色々な動物の鳴き声をさせるのですが……果たしてどうなることでしょうか。

盆山を見た後は、狂言「茸」に出演する子どもたちをみんなで送ります。

狂言「茸」に狂言師として出演する代表の児童生徒たちが、装束(狂言の衣装)に着替えるために楽屋へ移動します。みんなで声援をおくりましょう!



3、狂言体験 ～僕も私も1日狂言師～

全員参加ワークショップ

狂言の世界を体験 1日狂言師の気分を味わおう!



狂言のお稽古は、
「礼に始まり礼に終わる」
まずはお辞儀から。
きちんと正座をして、
大きな声で「よろしくお願い致します」と挨拶。
狂言師が基本の動作をレクチャーします。

◀よろしくおねがいしますとみんなであいさつ
心が引き締まります。

狂言の基本所作(動き)を学ぼう!

狂言にはさまざまな所作があります。泣いたり、大笑いを見ている人にわかりやすくするために、大きな動作をしてみせます。
狂言の動きを学びましょう。

動物の鳴き真似クイズ

最初に見て頂いた「盆山」にも犬、猿の鳴き真似が出てきましたね。
犬は「ビョービョービョー」と鳴いていました。さてこの動物の鳴き声はなんでしょう?

Q クークークー
ゴオーケー



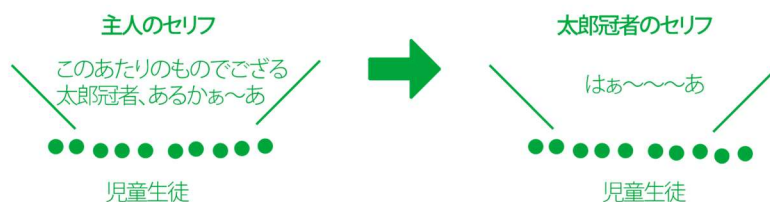
Q プ〜ン



狂言の発声にチャレンジ!

セリフ劇である狂言の発声の仕方を全員でトライしてみましょう!

狂言の代表的な登場人物の太郎冠者と主人のセリフの掛け合いを、
客席を二つに分けて、大きな声で言ってみよう!



🍄 みんなで謡を謡おう!

みんなで
体験!

狂言はセリフだけでなく、歌謡的要素の狂言も大きな魅力の一つです。
馴染みやすい狂言の謡「兎(うさぎ)」の一節を全員で謡ってみましょう。



事前にDVDなどを見て練習していただき
当日全員で謡います。
謡に合わせて狂言師が「小舞」を舞います

こんなこともやりました 小規模校の場合など

事前ワークショップで、
「茸」のお稽古の他に、
謡いと小舞を
練習して本公演で
披露したこともありました。



🍄 🍄 🍄 🍄 そのころ舞台裏では…… 🍄 🍄 🍄 🍄



出演者が狂言の装束を着付けながら、言葉をかけて緊張をほぐしていきます
装束に着替えた子どもたちは大興奮!何度も鏡で自分の姿を見たり、友達同士でほめ合ったりと
気分は最高潮に!



いよいよ本番! きちんと挨拶をして本番に臨みます。
笠と面(おもて)をつけて準備万端。お友達の面がちゃんと付いているかお互いチェック。
舞台裏はわくわくとドキドキの子どもたちの熱気に包まれます。

ここに
注目!

子どもたちは狂言の本物の装束(衣裳)を身につけます。
はじめて着る装束に子どもたちの気持ちも高まります。
この舞台でしか味わえない
一生の思い出に残る瞬間です。

世界にひとつだけの
キノコの面と笠が
できたよ!



🍄 🍄 🍄 🍄 休 憩 🍄 🍄 🍄 🍄

4. 狂言「茸くさびら」 一大勢狂言ー

先生も
鬼役に変身!



鬼茸(おにたけ)
先生も鬼茸役として出演

主人

家にキノコがたくさん
生えてきたので、
山伏に祈祷を
おねがいする

笠と面

自分たちで作成した
笠と面をつけて登場!
キノコの独特の不思議な
世界を演出します
(作成時間の都合により、
笠はこちらがご用意したものを
使用することも可能です)

登場
人物

児童・生徒さん12名が
主役のキノコ役として出演



装束

本格的な狂言の装束を身につけ
舞台を華やかに彩ります



山伏

主人からの願いで
キノコを退治しようと
祈祷するが……

【あらすじ】

ある家でキノコがたくさん生えてきたので、その家の主人が気味が悪くなってキノコを退治してもらおうと山伏に祈祷をお願いします。霊験あらたかと自負をしている山伏は祈祷を始めます。ところが山伏が祈れば祈るほどキノコは増え続け家の中はキノコだらけになってしまいます。走り回るキノコ、いたずらをするキノコ、最後はおどろおどろした鬼茸(おにたけ)まで出現、とうとうキノコに追われて逃げ出します。



「ポーロンボロン」と山伏が祈祷を唱えれば唱えるほど



どんどんキノコがふえてゆきます



祈祷がやむとびたつと動きをとめるキノコたち



クライマックスでは鬼茸が出てきて……

カーテンコール

本日出演した子どもたちが最後に名前を呼ばれて出てきます。
ここではじめて面と笠を脱いで顔を出してあいさつします。
すると、あの茸はあの子だったのかと驚きの声があがります



ひとりひとり狂言師から名前を呼ばれて、自分の作った面と笠を見せて出てきます

鬼役の先生は誰なのか当日まで内緒



演技を終えた子どもたちが観客のみなさんにお礼の挨拶をして幕を閉じます。みんな演技をやり終えた達成感に笑みがこぼれます

記念撮影

最後に、装束を着けたまま舞台上で記念撮影。
忘れられない
大切な思い出がのこります



児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

「狂言の楽しさを全員で体験する」

子どもたちに、実際の狂言の舞台を体験してもらうことで、表現力、創造力を豊かにし、伝統芸能をより身近に感じることができます。

狂言では、心からの挨拶と感謝でお稽古が始まります。背筋を伸ばすことで、大きな声を出すことが出来ます。

狂言には猿、犬の鳴き声や、扉を開くときの音などの擬音がたくさん出てきます。

それらを実演しながら子どもたちになんの擬音なのかを想像してもらいます。

また、子どもたちに親しみやすい動物を表現した「兎(うさぎ)」の謡(うたい)を全員でうたいます。お腹の底から大きな声をだして会場に響き渡るように謡います。

低学年には難しいと思われる狂言ですが、子どもたちは言葉の響きの面白さや狂言独特の空気を自然と感じ取って楽しむ能力があります。

観客の児童生徒は、自分の友人や身近な人間が舞台に出ていることで、より親近感がわき、狂言をもっと身近に感じていただけるようです。

実際に児童・生徒が登場するやいなや、会場からあたたかい笑いがあふれ出し、出演の子どもたちが作った「面」や「笠」を見て、その色とりどりの模様や形のおもしろさを楽しんでいます。

次代を担う子どもたちが、狂言の舞台に参加し、作品を作り上げることで強い印象を残すことができます。

狂言をより身近に感じていただき、将来において狂言を支える観客が育つこと、また、この舞台を経験したことで、狂言師になるきっかけづくりになればと思っています。

児童生徒とのふれあい

「自分たちで一つの作品を作り上げる」

この舞台の**主役**は、**子どもたちと先生自身**です。

鬼茸が先生が演じ、児童生徒が主役となって、

実際の舞台で演じるところに大きな特色があります。

狂言では、お客様に楽しんでもらうために、

きびしい稽古を重ねて舞台に出ます。

体験する児童・生徒には、**一つのことに取り組むことの大切さ**、

うまくできたときの達成感など感じていただき、

今後何かをやり遂げる時には、この経験を思い出して

一つのことをやり遂げる力をつけてもらいたいと思います。

「演技力、表現力を磨く」

子どもたちが演じるキノコはさまざま。

ちょこちょこと可愛い動きの低学年の子のキノコ。

高学年はしっかりした動きのキノコ。
鬼茸役の先生の怖くも威厳のある動き。
それぞれ個性的なキノコたちが舞台の上で動き回り、
創造性や演じる力を高めることができます。

「共演で得られるもの」

各学年から参加児童・生徒がそれぞれ集まり一つのことをやり遂げる。
すると、参加児童同士が自主的に教え合い、高学年の児童が低学年の児童を
フォローするなどコミュニケーションが生まれます。
また自分自身の個性を磨くだけでなく、他の人の動きを観察して、
自分との違いを研究するなど自分を客観視することもできます。
お互い協力して舞台を作り上げることで、**チームとしての団結力が深まるばかり**
ではなく、他の人よりも、もっと大きな声を出そうなどの、いい意味での対抗意識
が生まれ、**物事に取り組む意欲が高まる効果**があります。

指導者は子どもたちと真剣に取り組めます。子どもたちはその期待に
答えようと一生懸命取り組んで、お互いの信頼関係が築き上げられます。

「想像力・製作力が高まる」

自分の想像力を駆使して、茸の顔を「面」と「傘」をつくります。
子ども達の自由な発想でデザインしたものは面白く、
舞台をより一層豊かにさせることができ、
児童・生徒それぞれの個性を表現する力が高まります。
先生、友達、家族の方々と話し合いながら
オリジナルの「面」「傘」づくりを楽しみながら作成しましょう。

- ※ 説明書はあくまでも作り方の一例としてお渡しします。
作る素材も自由に考えさせることで面白いものが出来上がります。
(子どもたちの自由な発想を大事に)

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

実施計画書

制作団体名	株式会社伝統芸能オフィス	団体ID
公演団体名	一般社団法人 三宅狂言会	F80

[illegible]

